

# 府中崖線における生物多様性保全委託

令和7年度

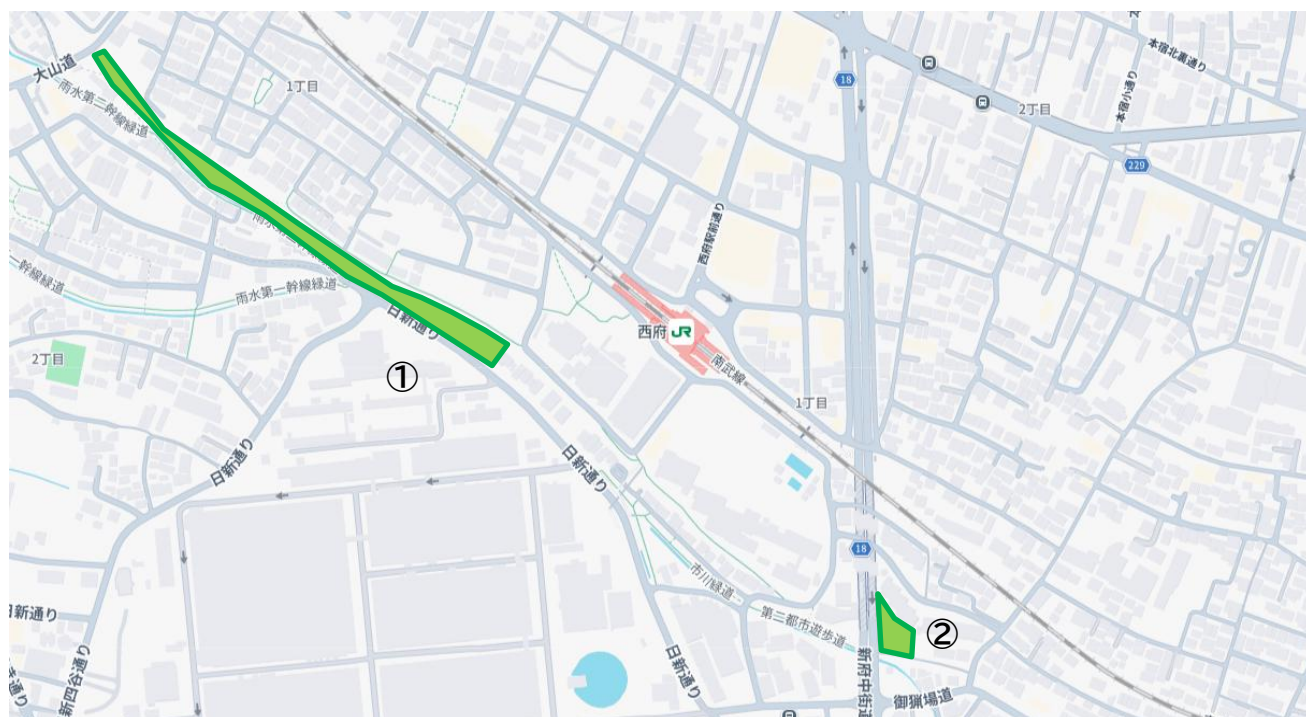


第一造園株式会社

## 目 次

- 1 案内図
- 2 選択除草の目的
- 3 日常業務のサイクル
- 4 春夏秋冬期の業務
- 5 崖線で除去する外来種
- 6 崖線で見られる草花
- 7 定期巡回・点検
- 8 市民協働

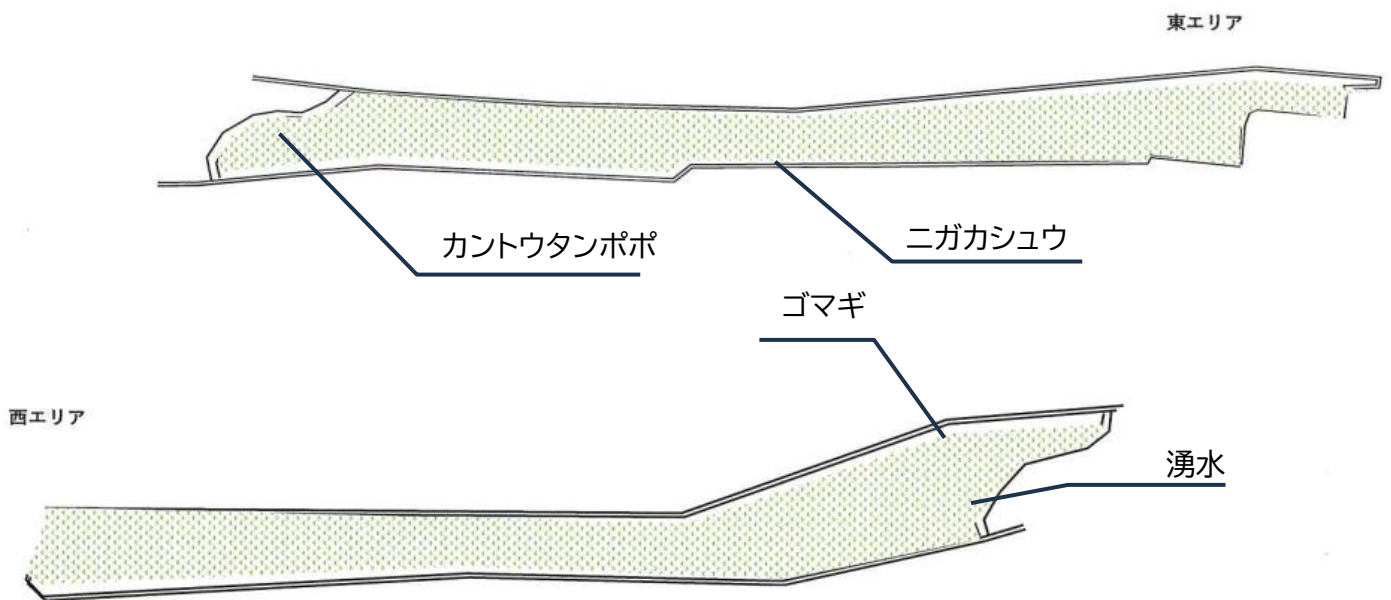
# 1 緑地案内図



崖線地区

- ① 西府崖線
- ② 本宿町崖線

## 西府崖線

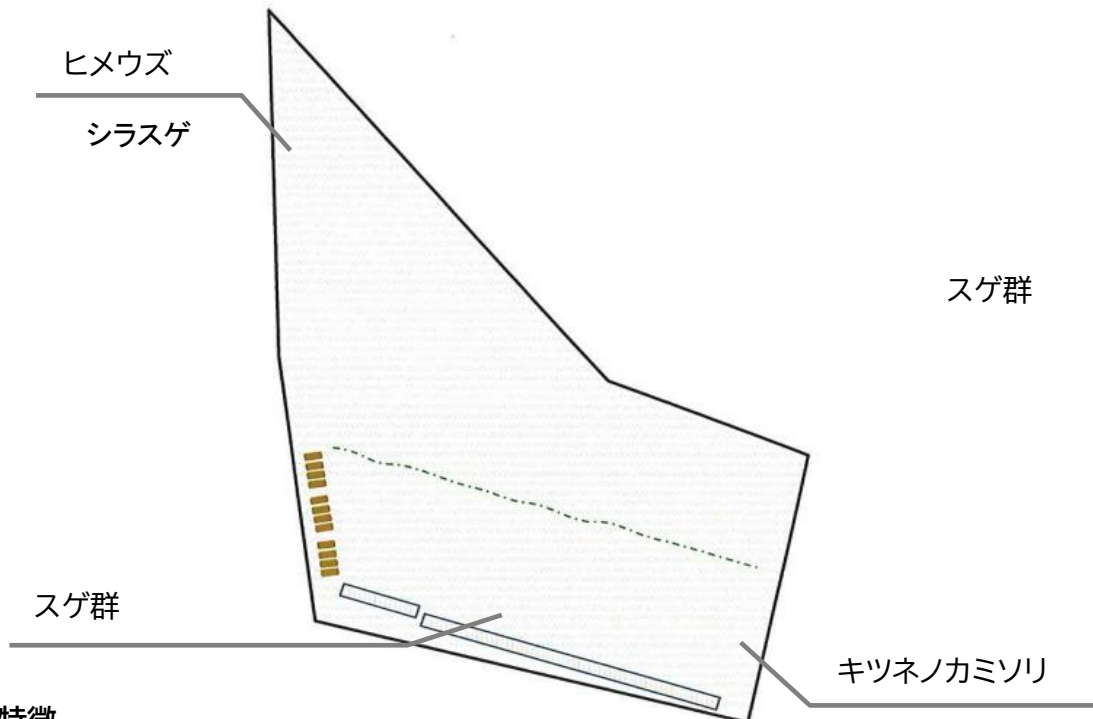


### 西府崖線の特徴

東京の名湧水57選の湧水があり、シダ植物が多数みられる。市内に現存する1本と言われるゴマギが自生。林床にはシダ類のほかにスゲ類やノカンゾウ、ヤブカンゾウ、キツネノカミソリ、などがみられる。野鳥も多く観察でき、自然の姿がそのまま現存している崖線になります。

東京都レッドリストに掲載  
ノカンゾウ、キツネノカミソリ、ウマノスズクサ、ニガカシュウ、ゴマギ

## 本宿町崖線



### 緑地の特徴

鎌倉街道や住宅地に囲まれていながらも自然が残る本宿町崖線。アカマツやイヌガヤ、ケヤキ、シラカシが大径木として自生している。過去には鷹の仲間ツミが営巣もしたことがあります。木陰にはキツネノカミソリ、ノカンゾウといった絶滅危惧種もみられる。

東京都レッドリストに掲載  
ノカンゾウ、キツネノカミソリ

## 2 選択除草の概要

選択除草は繁殖力の強い外来植物を抜いて、在来植物の緑地を造ることを目的とします。

1. 植生の調査・・・崖線に生息している植物の調査をします
2. 選択的除草・・・以前から生育している在来種を残し、外から侵入し定着してしまい在来種の生育の妨げになる帰化植物や外来植物を除去します
3. 中高木の手入れ・・・境界を越えた越境枝を影響のない範囲まで切り詰めます
4. 枯損木等の伐採・・・枯損木や緑地に侵入した帰化植物樹木は伐採します
5. 市民協働・・・対象地域で活動している市民団体と協働し作業やイベントを行います

## 3 日常業務のサイクル

業務内容	春	夏	秋	冬～早春
判別調査・選択的除草	■			
定期巡回・点検	■			
剪定・枯損木処理				■
共通作業(清掃)	■			
市民協働	適宜			

日常業務は上記の周期で業務を行っています。



シヨカツサイの抜根除草



トキワツユクサの抜根除草



ハルジオンの抜根除草



春は植物の芽吹き の 時期、ハルジオンの伸長が旺盛。トキワツユクサも生態系被害防止リストに記載されている為、根気強く抜根除草にて駆除します。

## 夏期の業務



夏季は在来植物も伸長が旺盛になる為、残すものを指定し群生地を現す(ここではスゲ群)



背丈が高くなりほかの植物が埋もれてします為、アズマネザサの抑制刈込。



ヨウシュヤマゴボウの抜根除草。根茎が大きくなると取りずらくなる為、発見次第引き抜きます。

## 秋期の業務



アレチノギクの抜根除草



セイタカアワダチソウの抜根除草

秋になると大型に成長する外来種が幅を利かせてきます。セイタカアワダチソウは生態系被害防止リストに指定されている為、発見次第駆除します。



大山道に面している法面はクズ蔓の伸長が旺盛。電柱などに絡みつき厄介者です。根茎が根深いため除草が困難。

## 冬期の業務



ヒメジョオンの抜根除草



ハルジオンの抜根除草



ハナニラの抜根除草



冬期になり下草は少ないですがロゼット状になったヒメジョオンやハルジオンを見逃さず抜根除草します。ハナニラも球根で増えるので注意が必要



樹木に絡んだ蔓や蔦取り



越境枝の剪定



越境枝の剪定

境界を大幅に超える枝や枯れ枝、通行の支障になりそうな枝を切り詰めます。



土嚢袋の中身は西府崖線の作業で発生した草や枝葉をバイオネットで堆肥化したものを使っています。



### 土嚢袋の設置状況

西府崖線の地層は玉石が土砂の中に含まれている為、崩れやすくなっています。そのため足元が崩れやすい場所に土嚢袋を敷設して袋の土の中の種から植物を発芽させ植物に大地を掴ませ安定させることが目的となります。

## 5 緑地で除去する外来種、帰化植物

外来種、帰化植物は外からやってきて緑地に定着してしまい在来種の生育環境を脅かすため除去しています。特に生態系被害防止外来種リスト(環境省)に記載されている外来種を主に選択的除草により除去します。



ハナニラ



ハルジオン



ヒメジオン



トキワツユクサ



ヨウシュヤマゴボウ

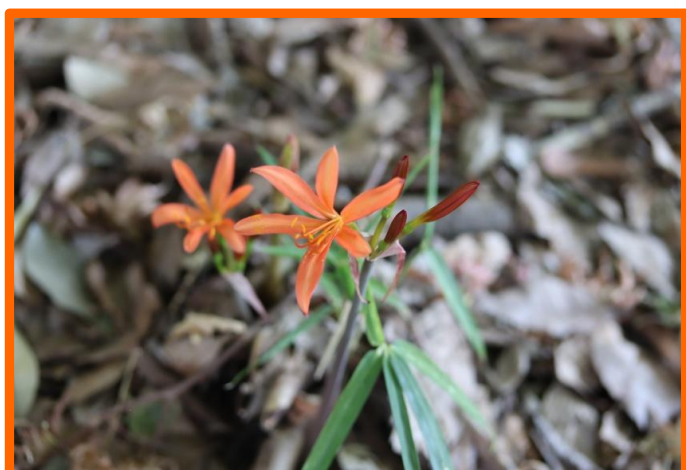


アレチノギク

## 6 緑地で見られる草花



ゴマギ  
絶滅危惧IB類 EN



ノカンゾウ  
準絶滅危惧 NT



キツネノカミソリ  
絶滅危惧II類 VU



ニガカシュウ  
絶滅危惧II類 VU

絶滅危惧 I B類(EN)

絶滅危惧 II類(VU)

準絶滅危惧(NT)

I A類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの

絶滅の危険が増大している種

現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種

緑地では絶滅危惧種も自生しています。これらの植物は生育環境が狭まり個体数が減少傾向にあるので生育環境を整え保護をしていきます。



ヤワラスゲ



メドハギ



ヒメウズ



ヒガンバナ



ヤブソテツ



ネコハギ



ホタルブクロ



センニンソウ

## 7 定期巡回・点検



巡回にて枝折れを発見切り戻しの処置を行いました



注意看板の落下、修繕をし再度取り付けています

## 8 市民協働

地域市民団体との協働で緑地の除草や清掃などを行っています。

### 第五小学校の環境学習



5月15、16日の2日間にわたり、第5小学校の環境学習支援として崖線に設置しているバイオネストの役割説明やバイオネストで生育しているカブトムシの幼虫などを観察してもらいました。

### 自然観察探検隊(昆虫観察)



7月 昆虫観察の概要説明。低学年組と高学年組に分かれて観察します。虫取り網を使い昆虫を捕獲。気温が高いので外での活動は1時間ほど